

総 評

【うた部門】

◆田島 聖子 先生

2年ぶりに審査をさせていただきましたが、AコースからEコースまで、どのコースのみなさんも素晴らしくて、歌う喜びにあふれていて、大変感動いたしました。

専門に志される方は、ぜひこれからも歌の楽しさを忘れず、ますます活躍していただきたいですし、趣味として取り組まれる方も、どんどんブラッシュアップして、いろんな作品に挑戦していただきたいです。

歌は素晴らしいので♡

◆まほろば 遊 先生

コンクールに挑戦された皆さんの真摯な姿、美しい歌声に感動しました。

緊張の中、日頃の練習の成果を出し切れた方、少し上手いかなかった方・・・様々な思いがある事でしょう。しかし、この素晴らしいコンクールの機会が、一人一人の成長に繋がったことに間違いありません。

全体的に澄んだ美しい声質で歌に向いている皆さんでした。

でも歌というのは、ただ歌うというだけではなく、歌詞の表現、顔の表情も豊かになると、更に伝わる歌になる事でしょう。

童謡からミュージカルまで幅広いジャンル、年齢層の中で、点を付けるのはとても難しく、どの方も素晴らしかったです。

これからも頑張ってください。

【ピアノ連弾部門】

◆石原 佳世 先生

今回で9回目を迎えて、年々感じていることではありますが、今年は更に参加者の皆さんのレベルがupされていると感じました。

1台のピアノを2人で分け合うことによって、音楽の表現はまるでオーケストラのように、響きの無限な可能性が広がるのがアンサンブルの醍醐味ですが、1組1組、皆さんに、それぞれに魅力的な色が感じられ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

今後に向けては、2人(20本の指)がどのパートを今受け持っているのかを、客観的な視聴覚でコントロールできると、もっと美しさや芸術性も増してくると思いました。

これからも是非、楽しく学び続けていただけることを願っています。

◆岡崎 章 先生

皆さまのピアノ・デュオの演奏は、強く輝きながら伝わってきました。

私も、仲間と共に奏でる事によって、音楽の可能性を感じております。

皆さまも、パートナーからどのような音楽の影響を受けてきたのでしょうか？

ピアノ・デュオは互いの感性によって、ピアノ・ソロ以上の倍音を作って伝えていきます。

その響きは、経験によって磨かれていきます。

今後も、皆さまの演奏を楽しみにしております。ありがとうございました。

◆前田 祐里 先生

本日はたくさんの素晴らしい演奏を、ありがとうございました。

一人ではなく連弾ということで、1人とはまた異なった"共に音楽を奏でる"楽しさ、喜びがあると思います。

皆様、とても生き生きと音楽をされていました。

低音～高音と幅広い音域を感じて、バランスを意識し、共に拍子(強・弱拍)をより感じ、より立体的な音楽にしてみてくださいね。

小・中学生の皆様は、手首のしなやかさを忘れずに！

皆様、これからも楽しくピアノを奏でて下さい！